

令和 3年度

事務事業評価表（ 令和 2年度 の実績評価）

記入年月日  
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		市設置型浄化槽維持管理委託事業			事業区分		担当		
					新規/継続	継続	事務事業No.	050503000131	
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独	所属課	070101	
政策体系	総合計画の施策名	0505	下水道の整備					下水道課	
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり					課長名	
	施策名	05	下水道の整備					グループ	
	手段名	03	③安定した経営					担当者名	
		財務会計上の位置付け			事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し（平成18年度～）		
法令根拠		桜川市市設置型浄化槽の設置及び管理に関する条例							← 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 桜川市の市設置型浄化槽維持管理委託は、浄化槽管理点検業務、汚泥汲み取り運搬汚泥処分業務となっている。委託業務以外では、浄化槽の修繕や法定検査を行っている。 浄化槽管理点検業務は、年3回の定期点検を行っている。汚泥汲み取り運搬汚泥処分業務は、定期点検結果から、汚泥汲み取りが必要とされる浄化槽の汲み取りを行う。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①浄化槽保守点検業務、汚泥汲み取りの委託契約 ②保守点検の報告書から、汲み取り業者への汲み取り依頼 ③保守点検報告書で浄化槽に不具合があるときの修繕依頼  汲み取り件数 365件 浄化槽修繕件数 29件

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
①浄化槽保守点検業務、汚泥汲み取りの委託契約 ②保守点検の報告書から、汲み取り業者への汲み取り依頼 ③保守点検報告書で浄化槽に不具合があるときの修繕依頼	水質基準適合率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
浄化槽使用者	使用者	人	1,931.00	1,931.00	1,931.00	1,931.00	1,931.10
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
維持管理を適正に行う。	点検回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	BOD	mg	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

		01年度	02年度	03年度	期間限定	
		(実績)	(実績)	(計画)	総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	27,480	27,923	27,500	0
		その他 千円	0	0	0	0
		一般財源 千円	5,877	10,229	12,500	0
		事業費計（A） 千円	33,357	38,152	40,000	0
	正規職員従事人数 人	1.00人	1.00人	1.00人		

		02年度事業費 実績（千円）		03年度事業費 予算（千円）	
事業費の内訳	10 需用費	12,112			
	11 役員費	2,333			
	12 委託料	22,318			
	18 負担金補助及び交付金	1,175			
	24 積立金	214			
		合計	38,152		合計

事務事業名	市設置型浄化槽維持管理委託事業	事務事業No.	50503000131	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 浄化槽整備事業が開始したため、それに伴い開始した。浄化槽の維持管理も問題なく管理ができてきている状態である。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 経年劣化による維持管理コストの増加が懸念される。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 茨城県の生活排水ベストプランに基づき行っている。市では条例化しており、快適な潤いある市として、地域全体の水質保全に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市では条例化しており、快適な潤いある市として、地域全体の水質保全に結びつき、使用料を徴収し、管理を実施している。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 不具合等に対し、素早い対応を取ることで、100%に近い水実基準適合率を目指す。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 維持管理が不能になり、水質悪化や環境悪化となる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 委託しているため。経年劣化による修繕等の増加が見込まれるため。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 使用者から人数割りで負担して頂いているので適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	維持管理の簡素化により維持管理委託費の削減、汚泥引抜金額の見直し。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 100%に近い水実基準適合率を目指すにあたり、浄化槽の不具合等に対しては、委託業者からの定期的なメンテナンス結果を基に、修繕や汲取り等の素早い対応を取ることで対応。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上			○	×	維持				×	低下				×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上			○	×																						
維持				×																						
低下				×																						
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>